

## LM・豪州インカム資産ファンド (年2回決算型)

### 運用報告書（全体版）

第11期 決算日 2020年7月17日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2015年2月13日から2025年1月17日まで	
運用方針	主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・豪州インカム資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・豪州インカム資産マザーファンド	オーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎年1月17日及び7月17日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

#### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「LM・豪州インカム資産ファンド（年2回決算型）」は、2020年7月17日に第11期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

当報告書に関するお問合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		株組 入比	式率	投資信託 組入比	純資 産額	
		税 分	達 配					み 金
	円		円		%	%	百万円	
7期(2018年7月17日)	10,980		0		△ 1.5	43.5	54.2	2,140
8期(2019年1月17日)	10,468		0		△ 4.7	48.1	49.9	1,700
9期(2019年7月17日)	11,834		0		13.0	46.4	51.5	4,465
10期(2020年1月17日)	12,435		0		5.1	34.8	62.8	7,233
11期(2020年7月17日)	9,217		0		△25.9	35.8	62.6	5,785

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比	式率	投資信託 組入比	託券 率
		騰 落	率				
(期首) 2020年1月17日	円 12,435		% -		% 34.8		% 62.8
1月末	11,912		△ 4.2		34.6		63.4
2月末	11,447		△ 7.9		34.2		62.5
3月末	7,160		△42.4		40.9		54.8
4月末	8,111		△34.8		38.3		60.9
5月末	8,940		△28.1		35.3		64.2
6月末	9,099		△26.8		35.6		63.1
(期末) 2020年7月17日	9,217		△25.9		35.8		62.6

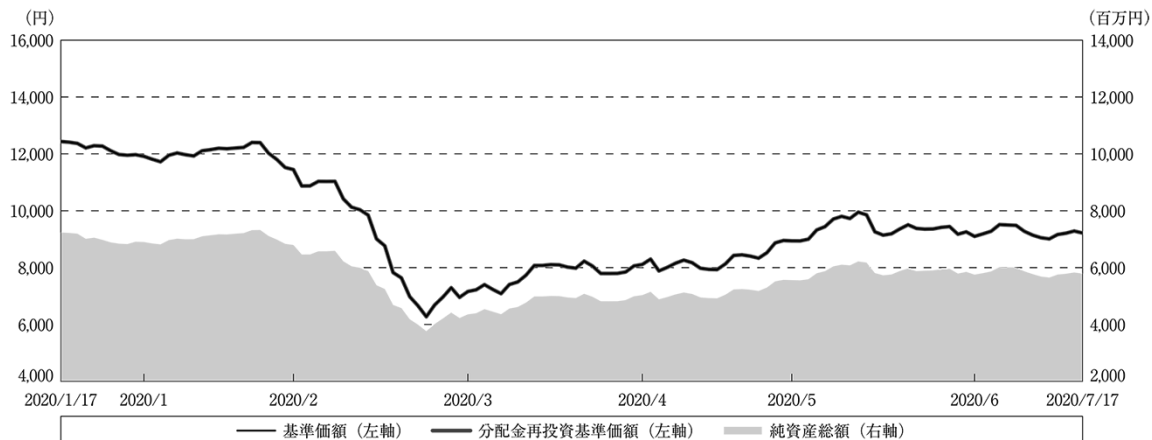
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2020年1月18日～2020年7月17日)



期首：12,435円

期末：9,217円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 25.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年1月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。株式市場の下落を反映して、株式要因がマイナスとなりました。また、為替要因についても、豪ドル安・円高を反映しマイナスとなりました。

当期のオーストラリア株式市場は下落しました。当ファンドが主要投資対象としている公益事業セクターおよびREIT（リート）セクターも下落しました。

期の前半は、米中貿易問題に対する懸念の後退や好調な企業決算などから、株価は底堅く推移しました。しかし、その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、世界経済の減速懸念が強まったことなどから、株価は急落しました。

期の半ばは、オーストラリア準備銀行（RBA）が金融緩和策を発表し、豪政府が財政支援策を発表したことなどを受け、過度のリスク回避姿勢が和らぐと、株価は反発しました。その後も、新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られ、経済活動再開への期待感などから、株価は値を戻す展開となりました。

期の後半は、経済活動の再開に伴う景気の回復期待が強まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、株価は堅調に推移しました。しかし、その後、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波への懸念が高まったことなどから、株式市場は上値の重い展開となりました。

オーストラリア株式指数（ASX200）の推移



当期の豪ドル・円相場は、豪ドル安・円高となりました。

期の前半は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に歯止めがかからず、世界経済の減速懸念が強まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、豪ドル売り・円買いが急速に進みました。

期の半ばは、各国が協調して金融・財政支援策を決定したことなどから、過度のリスク回避の動きが和らぎ、豪ドルは対円で反発しました。その後も、オーストラリアや欧米各国における新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られ、経済活動再開への期待が高まったことから、豪ドルは対円で値を戻す展開となりました。

期の後半は、経済活動が徐々に再開され、景気の回復期待が広がったことから、豪ドル買い・円

豪ドル／円レートの推移



売りが優勢となりました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波に対する懸念が浮上したことから、豪ドルは対円で伸び悩む場面も見られましたが、概ね底堅く推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2020年1月18日～2020年7月17日)

当ファンドは、主に「LM・豪州インカム資産マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場しているインフラ関連株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、組入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資を行いました。また、オーストラリア株式市場全体に比べてファンドの中長期的な値動きを小さく抑えることを目指してポートフォリオを構築しました。

## 分配金

(2020年1月18日～2020年7月17日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第11期
	2020年1月18日～ 2020年7月17日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,859

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場しているインフラ関連株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。また、個別銘柄や業種の選定を通じて、ファンドの中長期的な値動きをオーストラリア株式市場全体に比べて小さく抑えることを目指します。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年 1月18日～2020年 7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	85	0.903	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(41)	(0.438)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(41)	(0.438)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.061	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 3 )	(0.030)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 証 券 ）	( 3 )	(0.031)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.047	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	( 2 )	(0.019)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.002)	計理及びこれに付随する業務の委託等の費用
合 計	95	1.011	
期中の平均基準価額は、9,444円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

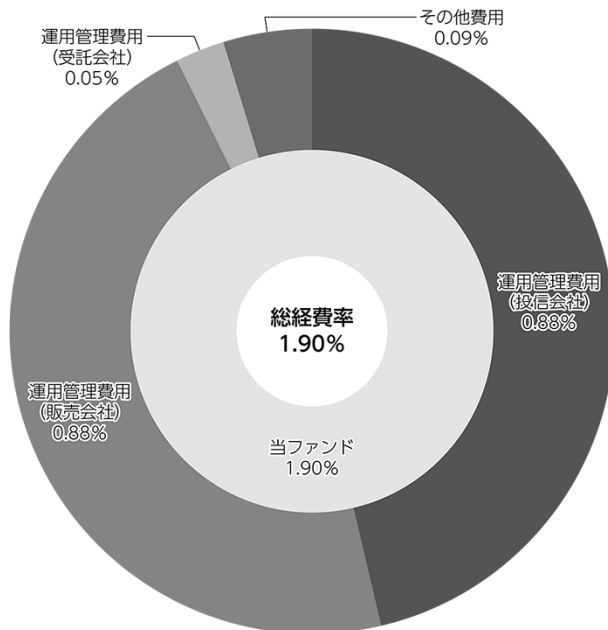
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2020年1月18日～2020年7月17日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・豪州インカム資産マザーファンド	千口 890,508	千円 956,617	千口 510,824	千円 593,163

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2020年1月18日～2020年7月17日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	LM・豪州インカム資産マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,427,356千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	9,891,837千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.75

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年1月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2020年1月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年1月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年7月17日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・豪州インカム資産マザーファンド	千口 5,366,533	千口 5,746,217	千円 5,839,306

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
LM・豪州インカム資産マザーファンド	千円 5,839,306	% 99.9
コール・ローン等、その他	3,418	0.1
投資信託財産総額	5,842,724	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) LM・豪州インカム資産マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(26,768,849千円)の投資信託財産総額(26,814,117千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月17日における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=74.89円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,842,724,146
LM・豪州インカム資産マザーファンド(評価額)	5,839,306,574
未収入金	3,417,572
(B) 負債	56,868,085
未払解約金	3,416,103
未払信託報酬	51,895,555
その他未払費用	1,556,427
(C) 純資産総額(A-B)	5,785,856,061
元本	6,277,483,326
次期繰越損益金	△ 491,627,265
(D) 受益権総口数	6,277,483,326口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,217円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	5,817,507,341円
期中追加設定元本額	976,805,365円
期中一部解約元本額	516,829,380円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は491,627,265円であります。

○損益の状況 (2020年1月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,469
その他収益金	1,469
(B) 有価証券売買損益	△1,716,884,358
売買益	89,922,364
売買損	△1,806,806,722
(C) 信託報酬等	△ 53,451,982
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,770,334,871
(E) 前期繰越損益金	615,018,714
(F) 追加信託差損益金	663,688,892
(配当等相当額)	( 1,091,084,320)
(売買損益相当額)	(△ 427,395,428)
(G) 計(D+E+F)	△ 491,627,265
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 491,627,265
追加信託差損益金	663,688,892
(配当等相当額)	( 1,092,367,930)
(売買損益相当額)	(△ 428,679,038)
分配準備積立金	702,595,703
繰越損益金	△1,857,911,860

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	87,576,989円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	1,092,367,930
(D) 分 配 準 備 積 立 金	615,018,714
分配対象収益額(A+B+C+D)	1,794,963,633
(1万口当たり収益分配対象額)	( 2,859)
収 益 分 配 金	0
(1万口当たり収益分配金)	( 0)

# LM・豪州インカム資産マザーファンド

## 運用状況のご報告

第6期 決算日 2020年7月17日

(計算期間：2019年7月18日～2020年7月17日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・豪州インカム資産マザーファンド」の第6期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	1. 株式への投資割合には、制限を設けません。 2. 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		株組 入比	式率	投資 組入	信託 比率	託券 率	純資 産額
		騰落	中率						
	円		%		%			%	百万円
2期(2016年7月19日)	10,368		6.5		46.5			51.2	19,309
3期(2017年7月18日)	11,299		9.0		44.5			51.6	29,955
4期(2018年7月17日)	11,674		3.3		43.1			53.7	25,668
5期(2019年7月17日)	12,810		9.7		46.1			51.2	29,769
6期(2020年7月17日)	10,162		△20.7		35.5			62.0	26,791

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

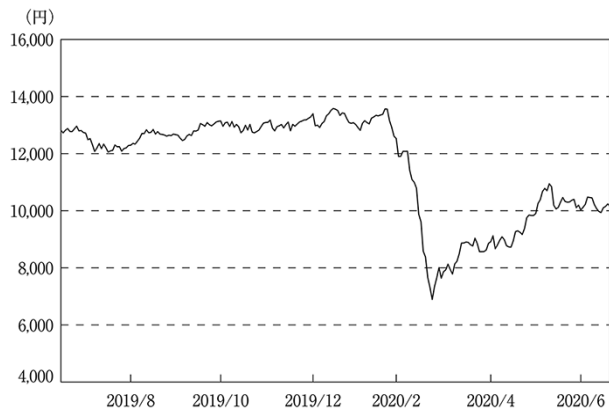
年月日	基準	価額		株組 入比	式率	投資 組入	信託 比率	託券 率
		騰落	率					
(期首) 2019年7月17日	円		%		%			%
	12,810		—		46.1			51.2
7月末	12,740	△	0.5		45.2			49.6
8月末	12,293	△	4.0		43.7			52.7
9月末	12,684	△	1.0		42.7			54.1
10月末	13,145		2.6		39.6			57.8
11月末	13,090		2.2		35.1			61.9
12月末	13,396		4.6		35.2			63.2
2020年1月末	13,018		1.6		34.6			63.3
2月末	12,529	△	2.2		34.1			62.3
3月末	7,863	△	38.6		40.7			54.5
4月末	8,915	△	30.4		38.0			60.6
5月末	9,834	△	23.2		35.0			63.7
6月末	10,024	△	21.7		35.3			62.6
(期末) 2020年7月17日	10,162	△	20.7		35.5			62.0

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2019年7月18日～2020年7月17日)



### ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。株式市場の下落を反映して、株式要因がマイナスとなりました。また、為替要因についても、豪ドル安・円高を反映しマイナスとなりました。

当期のオーストラリア株式市場全体は下落しました。当ファンドが主要投資対象としている公益事業セクターおよびREIT（リート）セクターも下落しました。

期の前半は、米中貿易摩擦の激化懸念や世界経済の減速懸念などから株式市場は下落しました。しかし、その後は、オーストラリア準備銀行（RBA）による根強い利下げ期待や米中貿易協議の進展期待などを背景に、概ね底堅く推移しました。

期の半ばは、米中貿易協議が合意に達したことなどを受け、株価は上昇しました。好調な企業決算も株価を押し上げました。しかし、その後、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大し、世界経済の下振れ懸念が強まったことなどから、株価は急落しました。

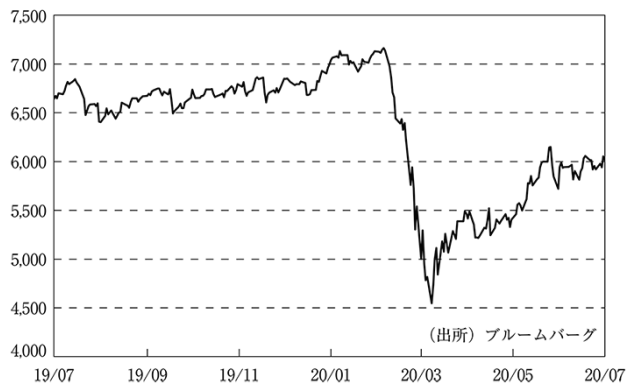
期の後半は、オーストラリア当局が金融緩和・財政政策を発表したことなどを受け、過度のリスク回避姿勢が和らぐと、株式市場は反発しました。その後も、新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られ経済活動再開への期待が高まると、株価は値を戻しました。しかし、当期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波への警戒感から、株価は上値の重い展開となりました。

当期の豪ドル・円相場は、豪ドル安・円高となりました。

期の前半は、米中貿易摩擦の激化などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、RBAが追加利下げを決定したことなどから、豪ドル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後は、米中貿易協議の進展期待などを背景に、豪ドルは対円で底堅く推移しました。

期の半ばは、米中貿易協議が合意に達したことなどから、豪ドル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、世界経済の下振

オーストラリア株式指数（ASX200）の推移



豪ドル／円レートの推移



れ懸念が強まったことから、豪ドル売り・円買いが急速に進みました。

期の後半は、各国が協調して金融・財政支援策を決定したことなどから、過度のリスク回避の動きが和らぎ、豪ドルは対円で反発しました。その後も、経済活動再開への期待感などから、豪ドルは対円で上昇しました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波への懸念が高まったことから、豪ドルは対円で伸び悩む場面も見られましたが、概ね底堅く推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場しているインフラ関連株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、オーストラリア株式市場全体に比べてファンドの中長期的な値動きを小さく抑えることを目指してポートフォリオを構築しました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場しているインフラ関連株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。また、個別銘柄や業種の選定を通じて、ファンドの中長期的な値動きをオーストラリア株式市場全体に比べて小さく抑えることを目指します。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 証 券 )	円 11 ( 6 ) ( 6 )	% 0.097 (0.048) (0.048)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 証 券 )	1 ( 1 )	0.007 (0.007)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	4 ( 4 )	0.037 (0.037)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
合 計	16	0.141	
期中の平均基準価額は、11,627円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2019年7月18日～2020年7月17日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 255,905 (△ 29,164)	千オーストラリアドル 86,936 (△ 5,942)	百株 205,714 ( - )	千オーストラリアドル 110,798 ( 155)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

# 投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
オーストラリア	百口	千オーストラリアドル	百口	千オーストラリアドル
INVESTEC AUSTRALIA PROPERTY	38,514	5,073	—	—
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	17,650	7,477	—	—
SCENTRE GROUP	50,381	18,627	18,154	4,479
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	51,605	12,001	—	—
CHARTER HALL LONG WALE REIT	26,001	13,160	—	—
UNIBAIL-RODAMCO-WTFIELD-CDI	9,166	9,713	12,537	5,535
GPT GROUP	8,494	5,238	10,766	4,482
CHARTER HALL RETAIL REIT	22,820	8,073	—	—
	( 8,131)	( 2,358)	—	—
CENTURIA METROPOLITAN REIT	43,463	12,865	—	—
	( $\Delta$ 43,463)	( $\Delta$ 12,865)	—	—
VICINITY CENTRES	25,925	4,844	93,104	14,842
	( 17,663)	( 2,614)	—	—
NATIONAL STORAGE REIT	58,407	11,152	66,337	14,497
DEXUS	18,913	18,884	371	470
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	13,969	4,504	—	—
APN INDUSTRIA REIT	6,354	1,639	—	—
	( 3,369)	( 970)	—	—
BWP TRUST	—	—	1,142	467
MIRVAC GROUP	25,268	7,987	16,537	3,955
CENTURIA OFFICE REIT	9,100	1,525	—	—
	( 43,463)	( 12,865)	—	—
VIVA ENERGY REIT	14,012	3,796	—	—
	( $\Delta$ 39,238)	( $\Delta$ 10,405)	—	—
GDI PROPERTY GROUP	11,926	1,219	—	—
INGENIA COMMUNITIES GROUP	11,854	4,226	—	—
	( 3,491)	( 1,204)	( 3,491)	( 1,204)
WAYPOINT REIT LTD	—	—	—	—
	( 39,238)	( 10,405)	—	—
ABACUS PROPERTY GROUP	3,459	937	—	—
小計	438,129	147,007	218,952	48,730
	( 32,654)	( 7,146)	( 3,491)	( 1,204)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は、株式交換、ラインバーストメントオプションによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2019年7月18日～2020年7月17日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	14,192,814千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,497,009千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.23

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年7月17日現在)

### 外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等		
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円		
AGL ENERGY LTD	9,765	12,688	22,116	1,656,268	総合公益事業	
APA GROUP	21,104	24,341	27,018	2,023,436	ガス	
AURIZON HOLDINGS LTD	35,494	46,548	22,110	1,655,852	鉄道	
AUSNET SERVICES	41,000	128,943	22,242	1,665,761	電力	
AVEO GROUP	38,636	—	—	—	不動産開発	
CENTURIA CAPITAL GROUP	—	34,124	5,767	431,894	資産運用会社・資産管理銀行	
CONTACT ENERGY LTD	28,032	5,370	2,916	218,384	電力	
GENESIS ENERGY LTD	26,238	32,440	9,018	675,382	電力	
MERCURY NZ LTD	26,691	8,822	3,784	283,449	電力	
MERIDIAN ENER-PARTLY PAID SH	37,140	—	—	—	再生エネルギー系発電事業者	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	15,329	39,485	8,923	668,291	電力	
SYDNEY AIRPORT	15,188	—	—	—	空港サービス	
TRANSURBAN GROUP	19,371	2,257	3,094	231,766	高速道路・鉄道路線	
合 計	株 数 ・ 金 額	313,994	335,021	126,992	9,510,486	
	銘 柄 数 < 比 率 >	12	10	—	< 35.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百口	百口	千オーストラリアドル	千円	%	
ABACUS PROPERTY GROUP	—	3,459	896	67,102	0.3	
APN INDUSTRIA REIT	13,875	20,229	5,016	375,722	1.4	
AUSTRALIAN UNITY OFFICE FUND	9,367	9,367	1,910	143,113	0.5	
AVENTUS GROUP	34,364	34,364	7,422	555,892	2.1	
BWP TRUST	9,021	7,879	3,073	230,145	0.9	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	16,351	30,321	10,006	749,361	2.8	
CENTURIA OFFICE REIT	—	52,563	10,828	810,920	3.0	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	12,250	38,252	16,410	1,228,962	4.6	
CHARTER HALL RETAIL REIT	27,659	50,480	16,002	1,198,413	4.5	
DEXUS	6,308	24,850	22,961	1,719,616	6.4	
GDI PROPERTY GROUP	27,161	39,087	4,338	324,929	1.2	
GPT GROUP	26,982	24,710	10,304	771,695	2.9	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	15,837	33,487	11,017	825,086	3.1	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	—	11,854	5,239	392,408	1.5	
INVESTEC AUSTRALIA PROPERTY	22,364	60,878	7,518	563,064	2.1	
MIRVAC GROUP	36,001	44,732	9,528	713,559	2.7	
NATIONAL STORAGE REIT	7,930	—	—	—	—	
SCENTRE GROUP	58,164	90,391	19,343	1,448,650	5.4	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	47,891	99,496	21,889	1,639,283	6.1	
STOCKLAND	68,804	68,804	22,498	1,684,948	6.3	
UNIBAIL-RODAMCO-WTFIELD-CDI	10,828	7,458	3,095	231,809	0.9	
VICINITY CENTRES	84,355	17,177	2,353	176,235	0.7	
VIVA ENERGY REIT	25,226	—	—	—	—	
WAYPOINT REIT LTD	—	39,238	10,319	772,846	2.9	
合 計	口 数・金 額	560,747	809,089	221,975	16,623,770	
	銘柄 数<比 率>	20	22	—	<62.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	9,510,486	35.5
投資証券	16,623,770	62.0
コール・ローン等、その他	679,860	2.5
投資信託財産総額	26,814,117	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(26,768,849千円)の投資信託財産総額(26,814,117千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月17日における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=74.89円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2019年7月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,160,811,757
コール・ローン等	250,890,836
株式(評価額)	9,510,486,996
投資証券(評価額)	16,623,770,819
未収入金	574,284,124
未収配当金	201,378,982
(B) 負債	368,922,860
未払金	346,694,400
未払解約金	22,228,364
未払利息	96
(C) 純資産総額(A-B)	26,791,888,897
元本	26,365,318,343
次期繰越損益金	426,570,554
(D) 受益権総口数	26,365,318,343口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,162円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	23,239,481,722円
期中追加設定元本額	8,850,753,624円
期中一部解約元本額	5,724,917,003円

(注) 期末における元本の内訳

LM・豪州インカム資産ファンド(適格機関投資家専用)	11,814,319,583円
LM・豪州インカム資産ファンド(年2回決算型)	5,746,217,845円
LM・豪州インカム資産ファンド(毎月分配型)	5,464,892,673円
LM・豪州インカム資産ファンド(隔月分配型)	1,983,303,536円
LM・豪州インカム資産ファンド(為替ヘッジあり)(毎月分配型)	443,053,139円
LM・豪州インカム資産ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)	366,557,666円
LM・豪州インカム資産ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	352,172,017円
LM・オーストラリア・インカム・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	99,799,881円
LM・オーストラリア・インカム・アロケーション・ファンド(年2回決算型)	95,002,003円

○損益の状況 (2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,444,117,531
受取配当金	1,444,460,664
受取利息	△ 15,400
支払利息	△ 327,733
(B) 有価証券売買損益	△8,287,246,491
売買益	546,648,257
売買損	△8,833,894,748
(C) 保管費用等	△ 11,129,593
(D) 当期損益金(A+B+C)	△6,854,258,553
(E) 前期繰越損益金	6,529,756,289
(F) 追加信託差損益金	1,901,399,977
(G) 解約差損益金	△1,150,327,159
(H) 計(D+E+F+G)	426,570,554
次期繰越損益金(H)	426,570,554

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。